

中・高生参加の「しもすわ未来議会」を開催

昨年引き続き
第2回目の

新時代を迎える下諏訪町！



若者の視点から
町に提案、要望が！

傍聴者で埋まる議場

●平成22年『しもすわ未来議会』開催

中学生、高校生の視点から明日の下諏訪町のまちづくりについての意見、提案を聞き、これからの町施策に反映したいという目的で昨年に引き続き第2回目となる「しもすわ未来議会」を11月11日開催しました。過去の「こども議会」から「しもすわ未来議会」と名称も変え、未来を担う子ども達が何を考え、将来のまちづくりに何を求めているのか、事前学習など実施し本会議に向け準備が進められてまいりました。答弁は、町長をはじめとする理事者、全課長が対応、議長には、山田町議会議長に進行役をお願いしました。



町長から認定書の授与



議席順を決めるくじ引き



本番に向け真剣にリハーサル

●結団式(十一月一日)
しもすわ未来議会議員の決定を受けた生徒九人が初めて顔合わせした十一月一日、町長はじめ議会議員、町関係者、報道が見守る中、町長から各議員一人ひとりに認定書が授与されました。席上、町長から「学校、クラスの代表する議員として研究・協議した意見、提案を私にぶつけてほしい。その意見をしっかりと聞き、今後のまちづくりに活かし行政に反映したい。将来を担う皆さんに期待する」とあいさつがあり、代表議員である下諏訪中学校の宮下太希議員から「私たちは、良い町をつくるためにどうしたらよいか考えてきた」とのあいさつがありました。その後議席と質問順を決める抽選が行われ、緊張の中くじを引いていました。場所を本会議場に移し、議会本番に備え、席の確認と本番での質問席でのやり方など、実際に町議会議長が議長席に座り、質問書を読みながら本番さながらにリハーサルが行われました。

町の「未来設計図」を描く

●議員のみなさん(議席番号順)

- 下諏訪中学校三年 大原実姫
- 交通について
- 下諏訪向陽高校二年 甲斐麻衣子
- 赤砂崎公園化に伴う町の活性化について
- 下諏訪中学校三年 小林拓海
- 温泉施設の充実について
- 下諏訪中学校三年 宮下太希
- 高齢者の住みやすい町について
- 下諏訪向陽高校二年 名取竜兵
- ジョギングロードの整備について
- 下諏訪中学校三年 黒田真衣
- 観光産業の活性化について
- 観光客にもやさしい町づくりについて
- 下諏訪向陽高校二年 安藤奨平
- 「科学に触れあう場の提供」と「地域産業の振興」について
- 下諏訪中学校三年 小松瑞季
- 御田町や駅前等のシャッター通りの対策や対応について

●しもすわ未来議会「本会議」(十一月十一日)

本会議当日、報道機関の待ちかまえる中、議員の皆さんは緊張の面持ちで、自分の名前が書かれた議員席に座り、多くの傍聴生徒が見守るなか、午後一時十五分の本会議開会のブザーを待ちました。

この日出席した議員は九名。小林副町長、小沢教育長、全課長が次々に着席し、最後に青木町長が入場、着席後いよいよ本会議の開催です。

「皆さんこんにちは。学校を代表する皆さんとしもすわ未来議会を開催できること嬉しく思います。町は住民と行政が力を合わせて「人に優しく共に支え合うまちづくり」を目指しています。明日を担う皆さんのような若い世代の発想力、行動力がとても大切です。なれない議場で緊張感もあろうかと思いますが、精いっぱい自分の意見や要望を私たちにぶつけていただきたいと思います。今日の議会が明日の下諏訪町の原動力となり、有意義なものとなるよう期待します」という青木町長の期待を込めたあいさつで議会が開会しました。

●一般質問(議席順)

山田町議会議長の進行で一般質問のスタートです。議員の皆さんは、一人ひとり質問順に持ち時間十分の間、町に質問提案を行いました。全ての質問、提案に対して町長自ら丁寧な答弁を行い、中には予算編成に併せ検討するものなど、質問、提案に対して真剣に考え、ときには町の現状について説明を加え、出来るだけ提案に添えるよう努力と改善をしたいと思います。本誌では各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。

【本会議次第】

- 開会 平成22年11月11日(木) 午後1時15分
- 1. 本日の議員の出欠並びに 会議成立宣言
- 1. 開会に当たっての町長あいさつ
- 1. 会議録署名議員の指名
- 1. 会期日程及び日程の決定
- 1. 一般質問 (午後1時20分から午後3時10分)
- 1. 閉会にあたっての町長あいさつ
- 1. 代表議員お礼のあいさつ
- 閉会 平成21年11月11日(木) 午後3時15分



議席1番 大原実姫 議員 ~交通について~

大原議員 社中への通学路は狭く車とのすれ違いなど大変危険である。道幅を広くし、歩道の設置が最善の策と考える。工事が難しいのであれば、歩道を示す白線を引くことはできないか。

町長 町内の道路状況と危険箇所の認識を持っていることを説明。道路拡幅には住民理解と大きな経費がかかるなど、現状の中でどのような安全対策を講ずるべきか検討すると答弁しました。

また、白線の意味と交通マナーの徹底を呼びかけ、削れて薄くなっている白線や危険箇所、必要箇所など町に連絡をいただきたいとお願いしました。



大原実姫 議員